



□ 仙波の氷川神社と富士見橋

地元から鎮守様と呼ばれる仙波の氷川神社は、延久元年（1069）武蔵7党の1つ村山党に属する、この地の豪族仙波氏の創建と伝えられる。国道16号をはさんで愛宕神社と向き合いこんもりとした緑を構成している。また、滝の下へと下る切通しに架かる富士見橋は、コンクリート造ながらアーチ形態の橋で地域のシンボルとなっている。